

大浜体育館がリニューアル

老朽化していた大浜体育館の建て替えが完了し、4月にリニューアルオープンしました(写真上)。プロの試合にも対応した3000席のアリーナ(中)や、柔道や剣道の試合を4面確保できる武道館(下)、広々としたトレーニングジムも。スポーツをする人、みる人双方にとって、素晴らしい施設の誕生です。Vリーグ3部のクボタスピアーズが堺を拠点に活動すること。すでに1部で活躍する堺ブレイヤーズと、いつかここでダービーマッチが行われることを期待しています。



クボタスピアーズのマスコットのスッピー

百舌鳥古墳群ビジターセンター完成

百舌鳥古墳群周遊の出発点となるビジターセンターが3/13にオープン。コロナ禍のこの時期に?という思いはありますが、せっかく作った施設ですから、多くの市民と観光客に愛される施設になってほしいものです。無料シアターもあり。



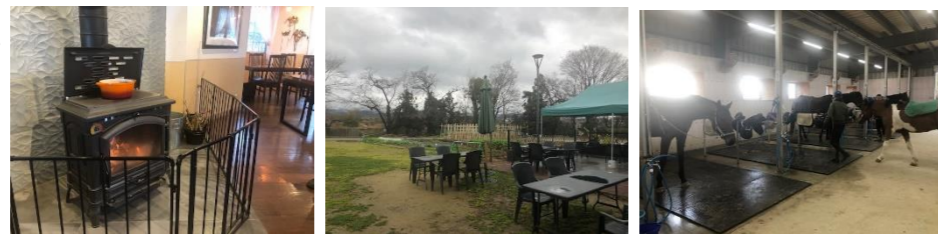
ジョルノビル商業エリアオープン

堺東駅前のジョルノビルが、商業施設と高層マンションの複合ビルとして生まれ変わりました。飲食や小売店、スーパーや保育施設、図書の貸出カウンターなどが入り、堺東の活性化と周辺住民の利便性向上に繋がるのが期待されます。



【視察報告：素敵な就労支援施設】

薪ストーブのあるオシャレな店内と、外には広いテラス席。そして乗馬クラブが併設。貝塚市のレストラン「森の小径(にみち)」は、なんと障がい者の就労支援施設なのです。農園もあり、障がい者の皆さんがそれぞれの特性に応じて、



それぞれの持ち場で活躍されています。障がいは千差万別だと改めて実感した、目からウロコの施設でした。皆様もぜひ食事にごどうですか？

ご意見をお寄せください！

FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi@fuchigami.info

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

氏名: _____ TEL: _____
住所: _____

フッチーのつぶやき (編集後記)

テレビに政治家が出てくると、「パパの味方？敵？」と確認してくる5才の息子。勧善懲悪のヒーローものの影響か、それとも、つい私がテレビの前であれこれ言うてしまうせいかな。「敵も味方もなく、意見が違うだけで、そんな人ともわかり合える」と教えねば！そして私も実践せねば！(自戒の念も込め…)



ふちがみ猛志 議会活動報告 Vol.24



【ふちがみ猛志市政相談所】

堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX: 072-320-0103
Mail: takeshi@fuchigami.info
HP: www.fuchigami.info

- 1977年堺生まれ、堺育ち
- 妻、娘11才、息子9才、5才
- 堺市立錦小学校 卒
- 堺市立殿馬場中学校 卒
- 大阪府立三国丘高校 卒
- 神戸大学法学部 卒
- 2015年～堺市議会議員(2期目)
- 保護司



コロナ禍で堺の予算はどうなった？
特集号!!

ふちがみ猛志 検索

コロナ禍での減額予算

堺市の令和3年度予算が成立しました(詳細は中面掲載)。審議にあたりまず気になったのが、前年度比で減額予算であることです。少子高齢化で財政は厳しいのですが、それはどの自治体も同じこと。コロナ禍で行政がやるべきことは山積しており、全国20の政令市のうち17が増額予算です。減額は堺市を含め3市のみ。市民生活が厳しい時は、行政が施策を拡大して生活を支え、平常に戻った時に財政を再建するというのが、そもそもの公共の役割だと思えます。

【関西政令市の予算増減】

都市名	一般会計	前年度比
京都市	1兆5億円	27.2%↑
神戸市	8704億円	3.8%↑
大阪市	1兆8301億円	3.4%↑
堺市	4236億円	1.3%↓
政令市全体	15兆5054億円	7.7%↑

※令和2年度と3年度の一般会計の比較

子育て・教育が大幅削減対象に！

中でも、子育て・教育・福祉における事業廃止や予算削減が目立ちます(詳細は中面参照)。「生活から遠いところから削る」としていた堺市ですが、フタを開ければ保育料無償化の大幅な後退、勉強が苦手な子のための補習の廃止、認知症高齢者のオムツ給付金の削減など、生活そのものに直撃しています。一方で、大仙公園に気球を上げる事業や、堺港から夢洲(カジノ)への海上交通の実現等、到底「生活に近いところ」とは思えぬ事業には、しっかりと予算が付いています。永藤市長の優先順位のつけ方には、疑問が残ります。



財政は本当に危機的なのか？

永藤市長は2月、「財政危機宣言」を出しました。しかし、①法的根拠がなく、②宣言と解除の基準すら定めておらず、③投資家には今も「財政は健全」とアピールしており、不可解な宣言でした。堺市は固定経費の割合が20政令市で19番目に高い(悪い)ですが、市民1人あたりの貯金額は中位、借金に関する指標は非常に良好です。総合的には「中位」と見るべきで、日本総合研究所も、最新の評価で財政健全度を20政令市中7位としています。最下位の北九州市でもこんな宣言はしていません。危機を煽ることが、堺市に住もうとする人、ビジネスをしようとする人の目にどう映るでしょうか？心配です。



多くの要望が実現

とはいえ、いい面もありました。私たちの要望がいくつも実現したことです。永藤市長は、出身政党の維新ばかりではなく、様々な議員の要望に、バランスよく耳を傾けているように見受けられます。こうした姿勢は首長とし重要です。その姿勢に期待するがゆえに、私はこれからも、耳の痛い提言も遠慮なくしていきます。



中間の議員と市長に要望書提出

マイスタディが廃止!?
保育士への補助を削減!?



令和3年度予算の詳細は 中面へ

コロナ禍の予算を Check!!

【令和3年度予算の全体規模】

一般会計 4,236億円

福祉や教育、道路整備等、基本的な会計

特別会計 2,498億円

国民健康保険や介護保険など固定事業の会計

企業会計 867億円

水道事業など公営企業の会計

総額
7,601億円!!
市民1人あたり約90万円



私が気になった施策をピックアップし、○△×の評価をつけて紹介します。

紙面の都合で簡単な説明のみです。ご興味のある方はメール等で事務所にお問合せください。

子育て



○ 特定不妊治療費助成の拡充

長らく訴えた所得制限撤廃が実現。本当は国が決める前に、堺市独自でやってほしかったが・・・

× 保育料無償化に所得制限

4月の実施予定だった第2子0~2歳の保育料無償化に所得制限をつけ、対象が約1/10に縮小。約2600世帯が対象外となり、最大年80万円の負担増に！

× 保育士の加配の削減

保育士の追加配置の補助金をカット。保育の質低下、保育士の労働環境の悪化が懸念。(右ページ下段)



子育て支援は少子化社会の最重要課題。疎かにするまちに未来はあるのか、心配です。

まちづくり



○ 東西交通の構築に着手

連節バスの試験運行を実施。長年の課題だった東西交通の構築に、具体的な動きが出たことは評価。

× 堺旧港等ベイエリア開発

コロナで夢洲カジノ開発が大幅後退。夢洲頼みの堺のベイエリア開発は見直すべき。(右ページ上段)

× 大仙公園にガス気球

今夏に古墳を見渡せる気球が上がる。事業自体はいいが、コロナ禍で今やるべきことなのだろうか。



投資はタイミングが重要。民間の投資意欲が減退している今が、その時でしょうか？

地域・くらし



○ 自治会への活動支援

コロナで停滞する地域活動支援に、地域会館等の感染予防対策のための予算がついた。要望が実った。

△ ICT活用による利便性向上

行政手続きのオンライン化やAI導入等は重要だが、ICTと言えば予算審査が甘くなっている感もあり。



ICT活用そのものを目的化せず、あくまで利用者目線での効率化が大事です。

教育



○ 学校司書の拡充

昨年度に引き続きの拡充、「2校に1人配置」は評価。文科省の基準(1.5校に1人)まであと一歩。

× マイスタディ(さかい学びサポート事業)の廃止

10年以上続いた、勉強が苦手な子のための補習を廃止。実質的に代替措置もなし。(右ページ中段)

× ネットいじめ防止対策の廃止

ネット空間のいじめを防止するため、外部講師によるネット教育の授業が、突然廃止に。(右ページ下段)



学力向上や、ICT教育には熱心な市長だが、弱い立場の子にももっと目を向けてほしい。

健康・福祉



△ 高齢者施設でのPCR検査

国の方針でようやく高齢者施設でのPCR検査が2月に実現したが、3月末で終わってしまったのが残念。

○ 障がい者・児を同じ組織で所管

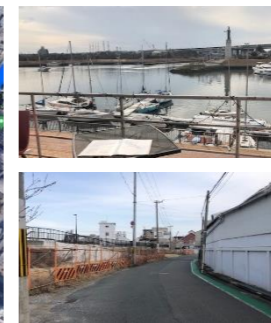
別部局の対応だった障がい者と障がい児を、同部局にし、一貫性あるサポート体制に。要望が実った。



コロナを心配する高齢者や障がい者の皆さんに、もっと安心をお届けせねば！

堺旧港から夢洲への海上交通？

堺市は堺旧港の北東側護岸の後背地(写真左の赤枠)に商業施設を誘致する計画です。ここに賑わいを作り、万博・IR(カジノ)会場の夢洲への海上交通(航路)を、万博開催(2025年)までに実現したいようです。堺旧港は護岸が整備され、おしゃれな雰囲気になりました(写真右上)が、その後背地(右下)はお世辞にも賑やかとは言えません。コロナ禍でIR計画が大きく後退しました(右表)。ならば、その波及効果を



マイスタディが廃止！？代わりにタブレット？

(さかい学びサポート事業)

勉強の苦手な子が、放課後の時間に元教員や地域の方々に勉強を教えてもらう「マイスタディ」が突然廃止に。学力の底上げに繋がり、利用児童の評価も高かった事業です。しかも代替措置が「1人1台のタブレット配布」とのこと！勉強が苦手な子が自分1人でタブレットで学習できるでしょうか。議会での指摘に「つまづきのある子には不十分」と当局も認め、別の代替措置の検討を表明。

保育士の加配削減の矛盾

保育士を国基準より多く配置するための堺独自の補助金が削減された。この事業は保育士の負担を軽減し、就業継続に資するもの。待機児童対策を優先課題に掲げる市長。「保育所設置と人材確保は車の両輪」「堺市も保育士不足」と認めながら、保育所設置には多額の予算を計上する一方で、人材確保に資する予算をバツサリ削減。

ハコが増えても、そこに入る「人」がいなければ意味がない！待機児対策の矛盾を指摘し、改善を要求。



狙う堺の計画も、見直しが必要なのは。そもそも26号線に面した三角地(写真左の黄枠)ですら、商業施設の誘致計画が2年以上遅れています。無茶な計画を見直し、夢洲への航路が本当に必要なかを検証した上で、時間をかけて周辺住民や商業者の声に耳を傾け、じっくりとこの地域のまちづくりを進めるべきです。堺旧港に魅力を感じる地元の1人として、そう提言しました。

	当初の計画	見直された計画
開業時期	万博開催前(2024年度)	2029年?
国際展示場面積	10万㎡以上	2万㎡以上
宿泊施設規模	3000室以上	2000~2500室
地下鉄延伸費用	IR事業者の負担	不透明(税金で?)

国際展示場面積2万㎡は、既存のインテックス大阪(7万㎡)にも遠く及ばない。見直し計画の内容については、3月30日付のブログにて解説。

事業廃止の理由は「財政」のようですが、つまづきのある子を見放すことが、将来の社会に(財政面も含め)どのような悪影響をもたらすか、市長も教育委員会ももっと真剣に考えるべきです。

マイスタディの利用者アンケート (R元年度調査)

マイスタディが楽しい...81.7%
マイスタディで学校の授業がよくわかるようになった...72.8%
来年も子どもに行かせたい(保護者)...94.4%



今こそ必要なネットいじめ対策

ネット空間でのいじめ防止のため、堺市では中学1年と小学4年で、外部講師によるネット教育を実施してきたが、またも財政を理由に廃止。折しも、1人1台のタブレットを使った授業が今年度本格化する。既にタブレットゆえのトラブル事例も発生。「ネットいじめ対策」が一層重要になるこのタイミングで廃止とは、まったくもって理解不能。早急な復活、代替策の検討が必要。

